

フリーランスの実態について

2022.5.17
税制調査会



プロフェッショナル & パラレルキャリア
フリーランス協会

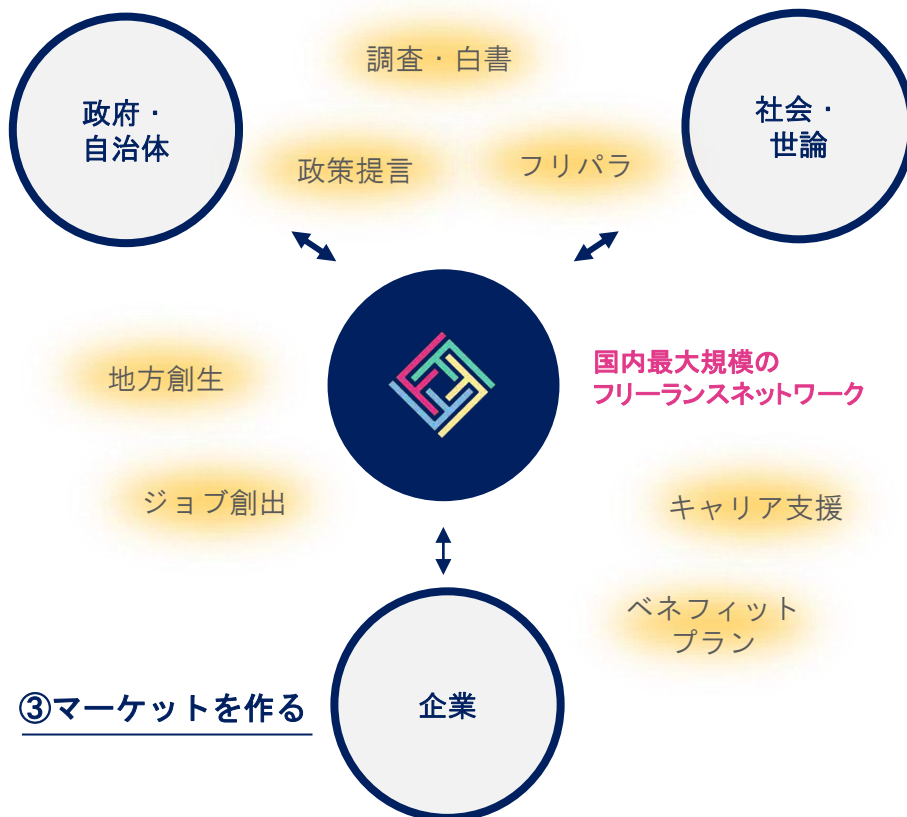
誰もが自律的なキャリアを築ける世の中へ

「誰もが自律的なキャリアを築ける世の中へ」

自分の名前で仕事をしたい人のためのインフラ&コミュニティ

①政策を実現する

②認識を変える



フリーランス向けベネフィットプラン

賠償責任保険（自動付帯・最大1億円）、収入・ケガ・介護の保険、報酬トラブル弁護士費用保険「フリーガル」、福利厚生サービスWELBOX、会計・税務・法務サービス、WiFi、全国112箇所のコワーキング等の優待

コミュニティ・ネットワーク形成

4拠点（関東、東海、関西、福岡）を中心に、全国で活動中

政策提言

働き方に中立な社会保険制度、契約トラブル防止など、フリーランス・副業人材の環境整備のため提言を行い、関係省庁と連携して政策を実現

調査・白書

フリーランス白書（毎年1回発行）の他、地方での就労への関心、副業解禁企業の運用、契約トラブル、ハラスメントなど広範なテーマで調査

地方創生

ワーケーションツアーの企画・開催、マッチング合宿の企画・開催、関係人口創出に関するコンサルティング、自治体との連携協定

ジョブ創出

フリーランス活用コンシェルジュ「求人ステーション」、フリーランス版イエローページ「フリーランスDB」、フリーランスパートナーシップアワード開催（年1回）

キャリア支援

各種キャリアアップイベント開催（個人向け）、50代からの自律人材育成研修（法人向け）、フリーランス&パラレルキャリア支援アドバイザー育成

情報発信

フリーランス向けオウンドメディア「フリパラ」

会員規模（フォロワー・一般会員・法人会員）

(フォロワー総数)

(一般会員数)

フォロワー総数
(有料会員、無料会員、SNSフォロワー)

一般会員数
(有料会員)

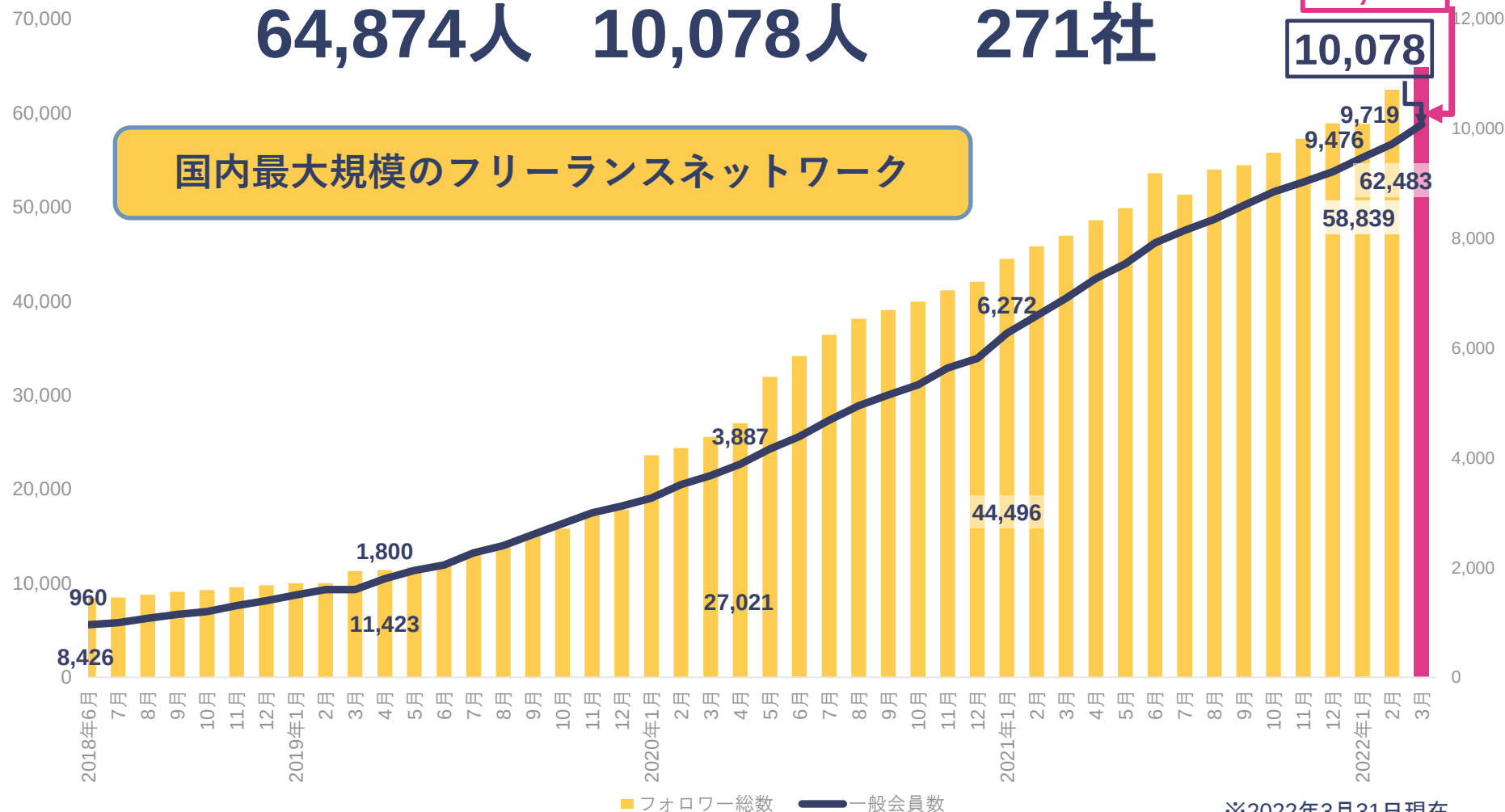
法人会員数
(提携コワーキングスペース含む)

64,874人

10,078人

271社

国内最大規模のフリーランスネットワーク



※2022年3月31日現在

フリーランスとは

フリーランスと一口に言っても、人によって働き方や課題は千差万別
「フリーランス」は玉虫色の言葉である



「特定の企業や団体、組織に専従しない独立した形態で、自身の専門知識やスキルを提供して対価を得る人」

雇用ではなく、業務委託・自営で働く
会社の看板ではなく、自分の名前で働く



独立系フリーランス 雇用関係なし、兼業人材



副業系フリーランス 雇用関係あり、副業人材

※派遣・アルバイトを含む



複合的な要因から、この5年間にフリーランスへの注目が高まり、
2020年の「広義のフリーランス」人口は462万人※に（※内閣官房調査）

機会：
独立・副業の敷居が低下

課題：
労働人材不足と経済縮小

多様な働き方が可能 & 求められる時代に

一億総活躍

人生100年時代

副業解禁

スキルシェア

関係人口創出

70歳までの就業機会確保

オープンイノベーション



フリーランスは事業者で、フリーターは非正規労働者
但し、働き方はグラデーション化しており雇用との境界線は曖昧に

	労働者 ←				→ 事業者					
	正規雇用	非正規雇用				フリーランス = 個人事業主・法人経営者・すきまワーカー（開業届無）				
			フリーター			一部に、準従属労働者を含む				
	正社員	派遣社員・契約社員	パート・アルバイト	日雇い・非常勤	偽装フリーランス	常駐フリー	事務所所属	ギグワーカー	請負・委託	自営
取引先との契約	雇用契約	雇用契約	雇用契約	雇用契約	業務委託契約	業務委託契約	マネジメント契約	利用規約	業務委託契約	業務内容による
支払い	給与	給与	給与	給与	給与～業務委託報酬	業務委託報酬	ギャランティー	業務委託報酬	業務委託報酬	業務内容による
社会保険	企業で加入	企業で加入	勤務時間数による	個人で加入	個人で加入	個人で加入	個人で加入	個人で加入	個人で加入	個人で加入
指揮命令	あり	あり	あり	あり	あり	あり～なし	あり～なし	なし	なし	なし
時間・場所の制約	あり※	あり※	あり※	あり※	あり※	あり※～なし	なし	なし	なし	なし
	← ※テレワーク促進により、徐々に制約から解放 →									
報酬の値決めの裁量	なし	なし	なし	なし	なし	あり～なし	あり～なし	あり～なし	あり	あり
取引先の数	1	1	複数	不特定多数	1	若干数	1（事務所）	複数（プラットフォーム利用）	不特定多数	不特定多数

- ◆ ギグエコノミーとギグワーク
- ✓ ギグエコノミー→デジタルプラットフォームと呼ばれるオンライン上で様々な取引をする仕組みの経済
- ✓ ギグワーク→デジタルプラットフォームを利用する単発の仕事

出所：石山恒貴「高い裁量性、経済的自立の鍵 ギグワーカーの未来」日本経済新聞2021年5月11日朝刊
経済教室 <https://www.nikkei.com/article/DGXZQOGH2980Q0Z20C21A3000000/>

フリーランス=ギグワーカー=Uberなのか？

国内のフリーランス人口は462万人 *1

国内のフードデリバリー配達員は20～30万人 *2

平均稼働時間が週40時間以上の配達員は21.2% *3
(全体が20～30万人だとすると、専業とみられる人は4～6万人)

*1 「フリーランス実態調査 2020年5月」内閣官房日本経済再生総合事務局

*2 一般社団法人日本フードデリバリーサービス協会 (JaFDA)

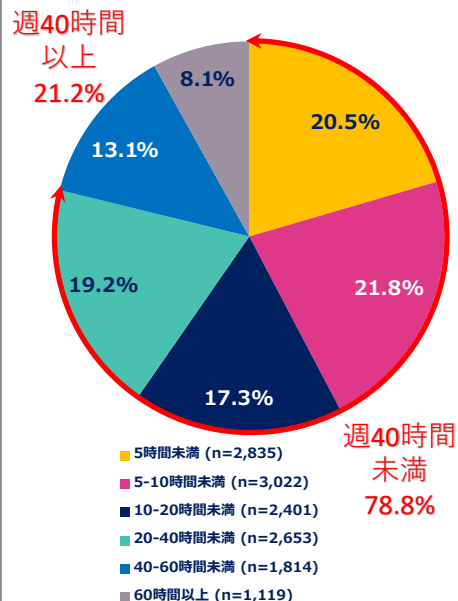
*3 「フリーランス白書2022 第3章フードデリバリー配達員実態調査」フリーランス協会

フードデリバリー配達員を
主な収入源とする人は、
フリーランス全体の**0.8-1.2%**の規模感
と推察される



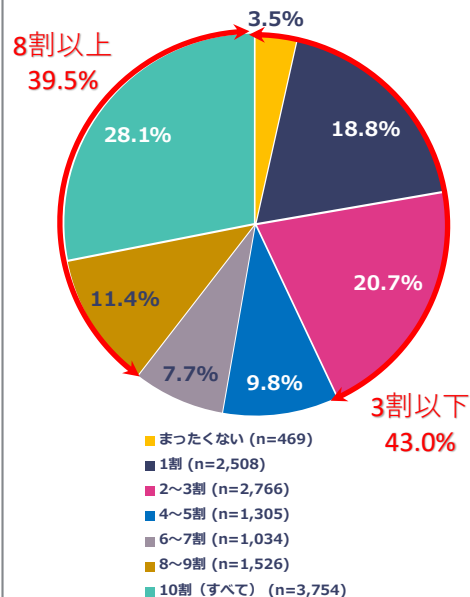
1週間の平均稼働時間 (n=13,844)

※直近1ヶ月。直近1ヶ月に業務を行っていない場合は、一番最近に業務を行った週。



収入全体に占める配達員収入の割合 (n=13,362)

※世帯収入ではなく個人収入。学生・専業主婦/主夫・年金受給者も含む



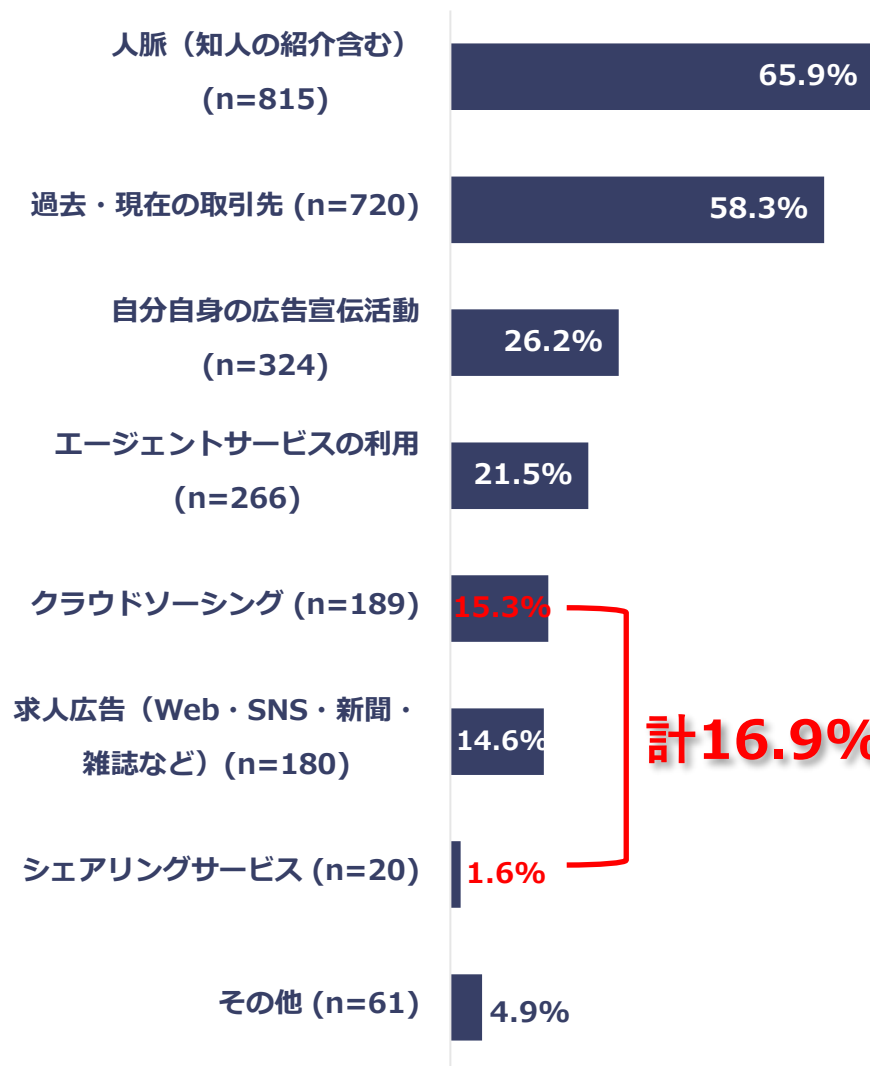
マスメディアの注目の高さが、
フリーランスやギグワーク全体像の理解を
ミスリードしている可能性は高い

デジタルプラットフォーム利用者の割合

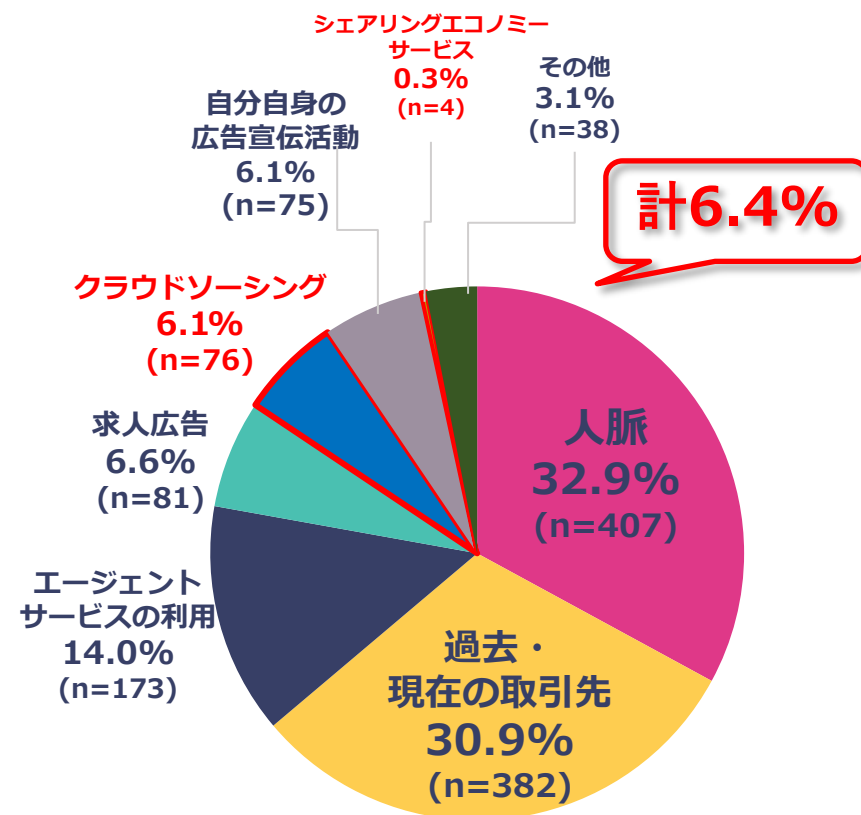
Q.仕事はどのようなところから見つけますか。

(n=1,236 単位：%)

直近1年間で仕事獲得に繋がったことのある選択肢をすべてお選びください。(複数回答)



Q.その中で、最も収入が得られる仕事は
どのようなところから見つけたものですか。(単一回答)



※エージェントサービスとは、コーディネーターによる仲介支援を伴うマッチングサービス

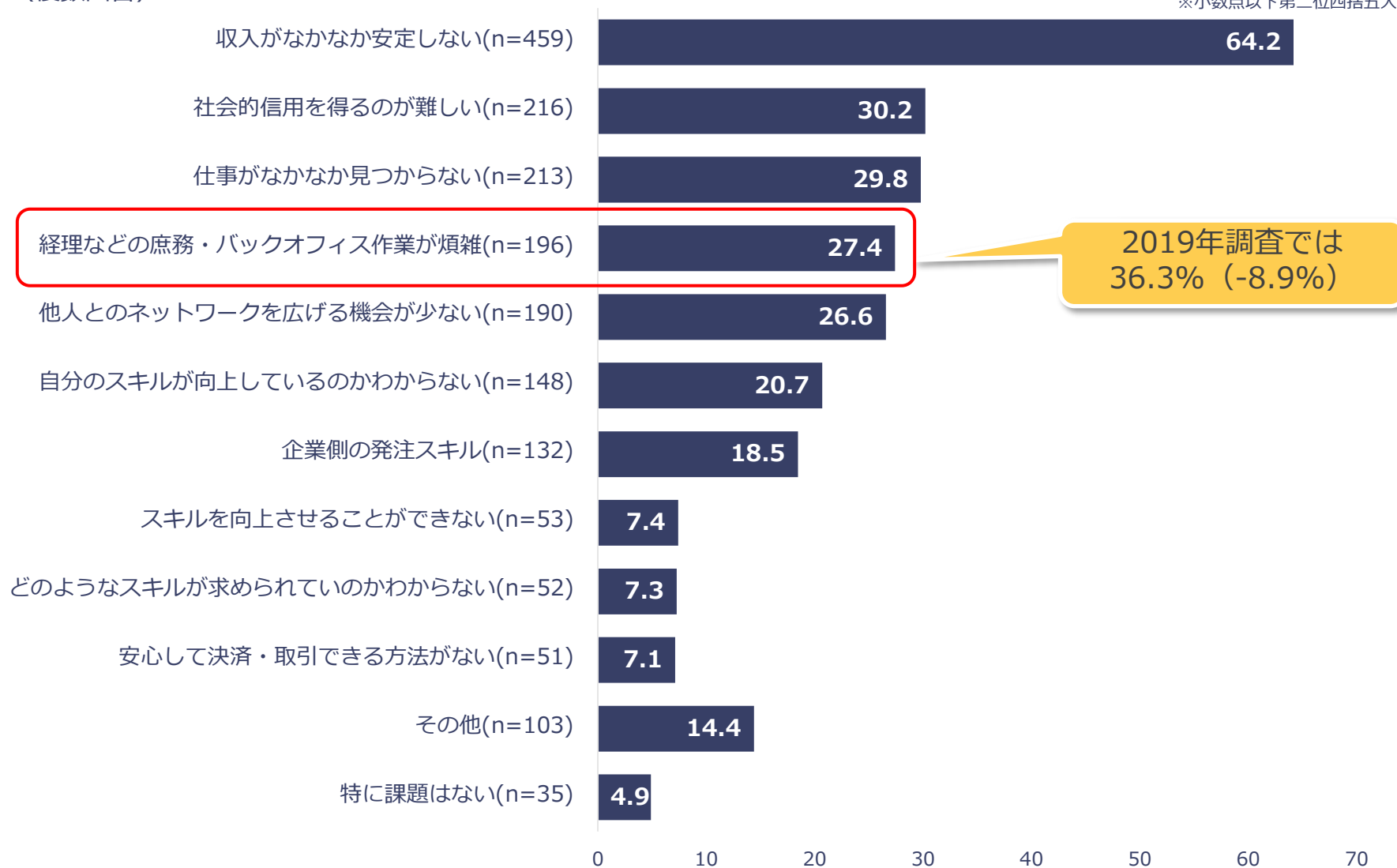
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70%

フリーランスの課題

Q.あなたが今の働き方（フリーランス）を続けていくうえで、課題になっているものをお答えください。
（複数回答）

（n=715 単位：％）

※小数点以下第二位四捨五入



出典：「フリーランス白書2021」フリーランス協会
<https://blog.freelance-jp.org/20210325-12032/>

フリーランスの記帳実態

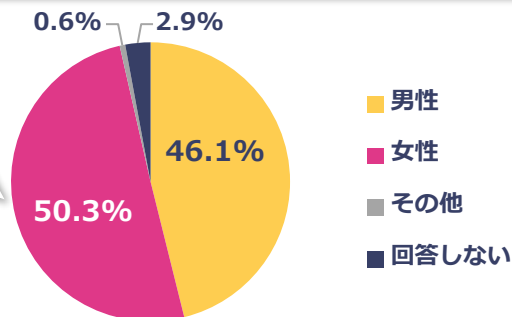


出典：「フリーランス白書2022」フリーランス協会
<https://blog.freelance-jp.org/20220329-14798/>

(n=1,236 単位：%)

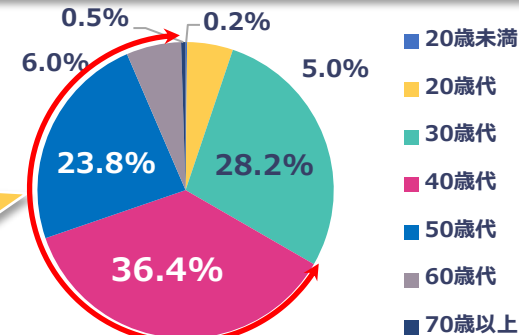
性別

男女比は
ほぼ半分



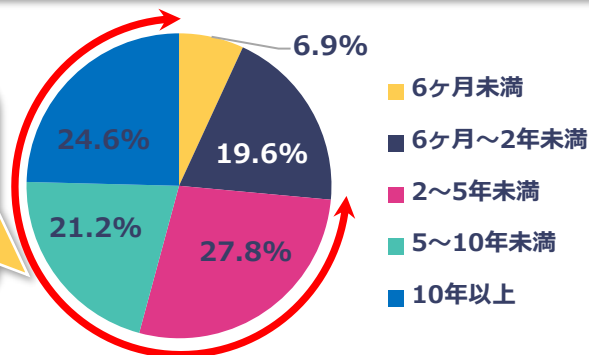
年齢

40代以上
が67%



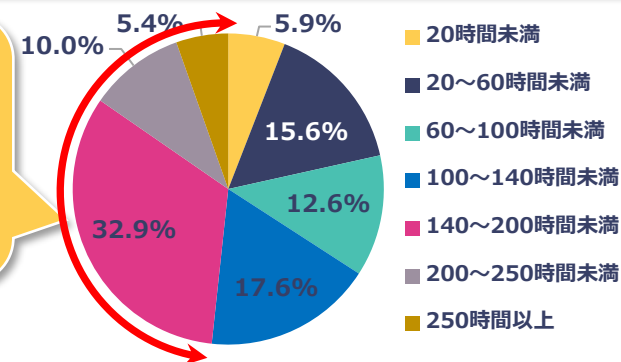
開業後の期間

2年以上が
3/4



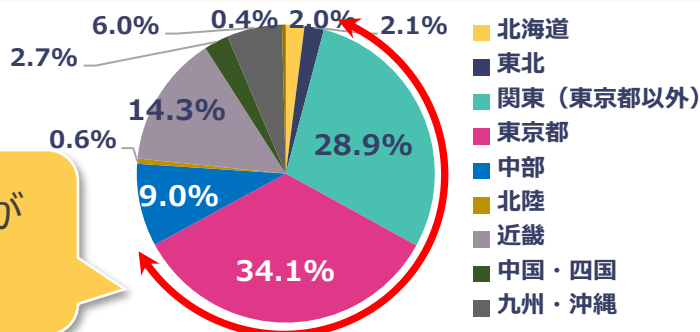
月間平均就業時間

140時間
以上の
フルタイム
が
1/2



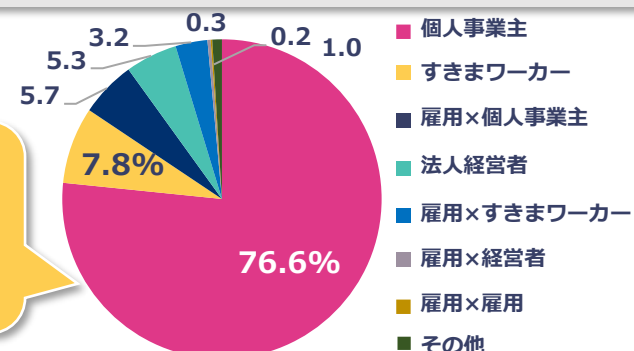
地域分布

首都圏が
65%



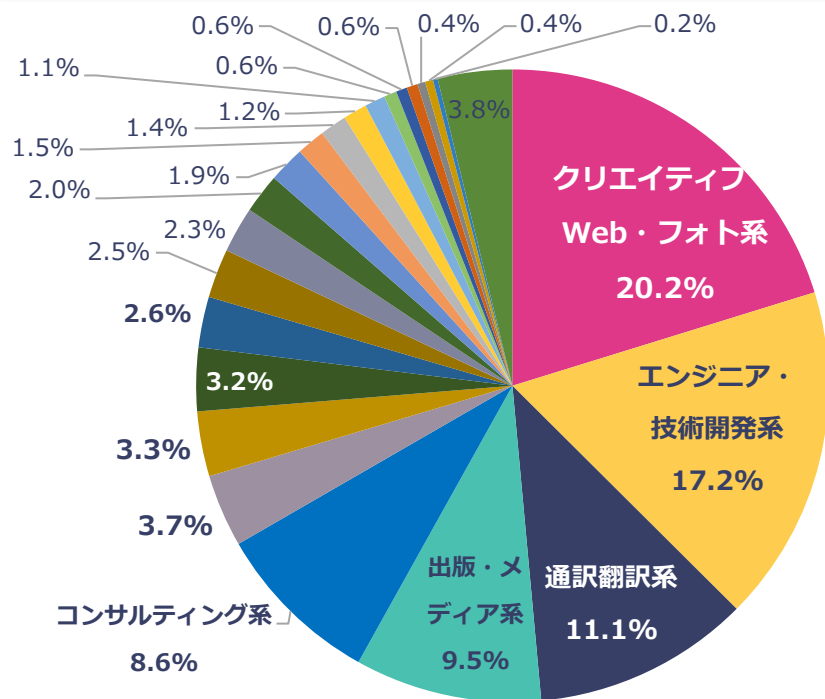
就業形態

独立系フ
リーランス
が
89.6%



(n=1,236 単位：%)

主な収入源となっている職種



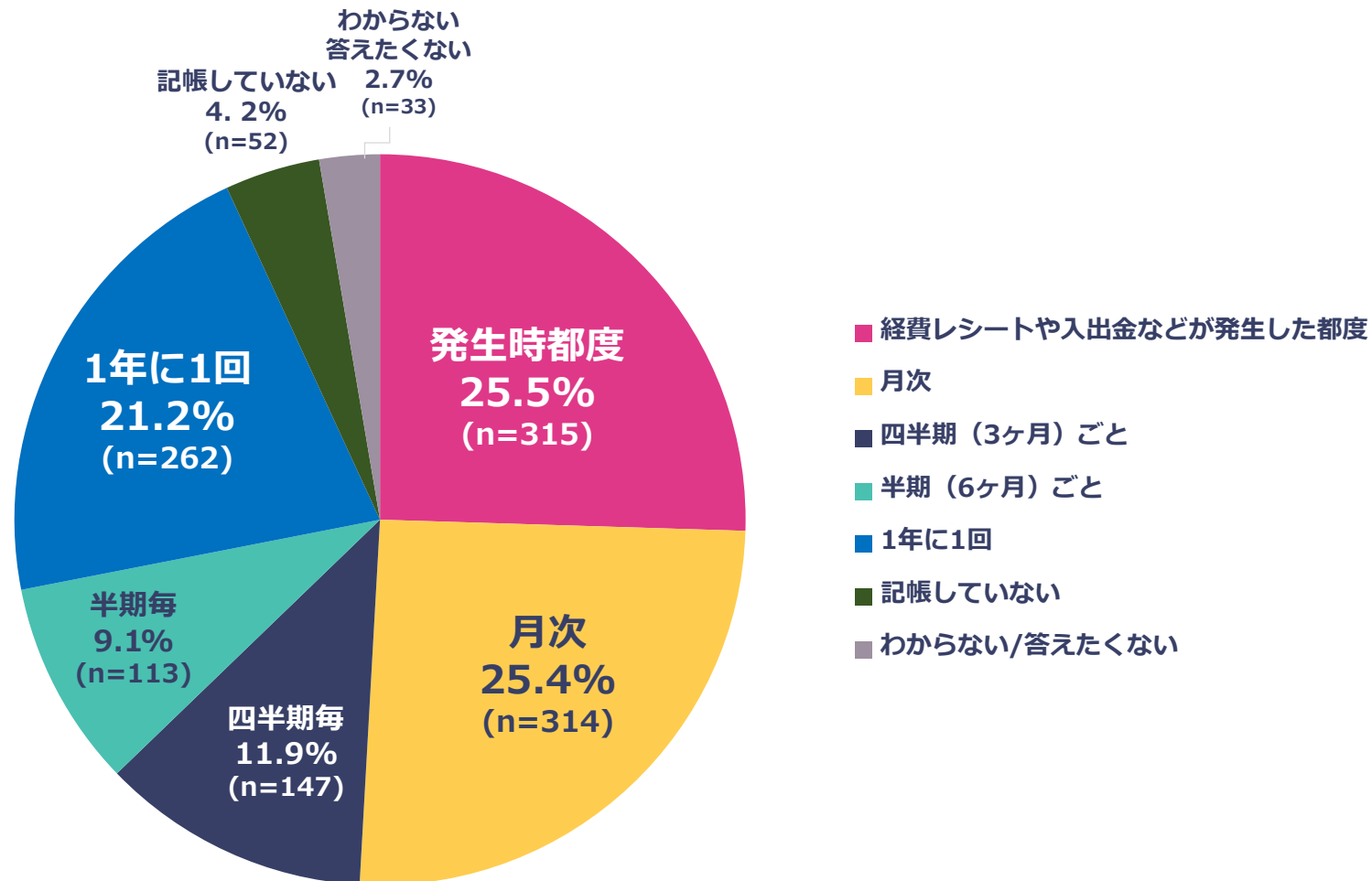
- クリエイティブ・Web・フォト系
- 通訳翻訳系
- コンサルティング系
- 映像制作系
- 芸術系
- 事務・バックオフィス系
- 人事・人材系
- 営業・販売・小売系
- 土業系
- 建築・施工系
- 美容ファッション系
- 金融保険系
- 観光系
- 飲食系
- その他

主な収入源となる職種	回答数	割合
1 クリエイティブ・Web・フォト系	250	20.2%
2 エンジニア・技術開発系	213	17.2%
3 通訳翻訳系	137	11.1%
4 出版・メディア系	118	9.5%
5 コンサルティング系	106	8.6%
6 企画系	46	3.7%
7 映像制作系	41	3.3%
8 事務・バックオフィス系	40	3.2%
9 芸術系	32	2.6%
10 人事・人材系	31	2.5%
11 教育系	29	2.3%
12 営業・販売・小売系	25	2.0%
13 医療福祉系	23	1.9%
14 土業系	18	1.5%
15 スポーツ・健康系	17	1.4%
16 建築・施工系	15	1.2%
17 配達・運送系	13	1.1%
18 美容ファッション系	8	0.6%
19 ライフサポート系	7	0.6%
20 金融保険系	7	0.6%
21 MC・モデル・タレント系	5	0.4%
22 観光系	5	0.4%
23 飲食系	3	0.2%
24 その他	47	3.8%
全体	1236	100.0%

※「その他」回答抜粋
 便利業・占い師・テープ起こし（文字起こし）・クラウドワーカー・機械修理・調査・速記・縫製職人など

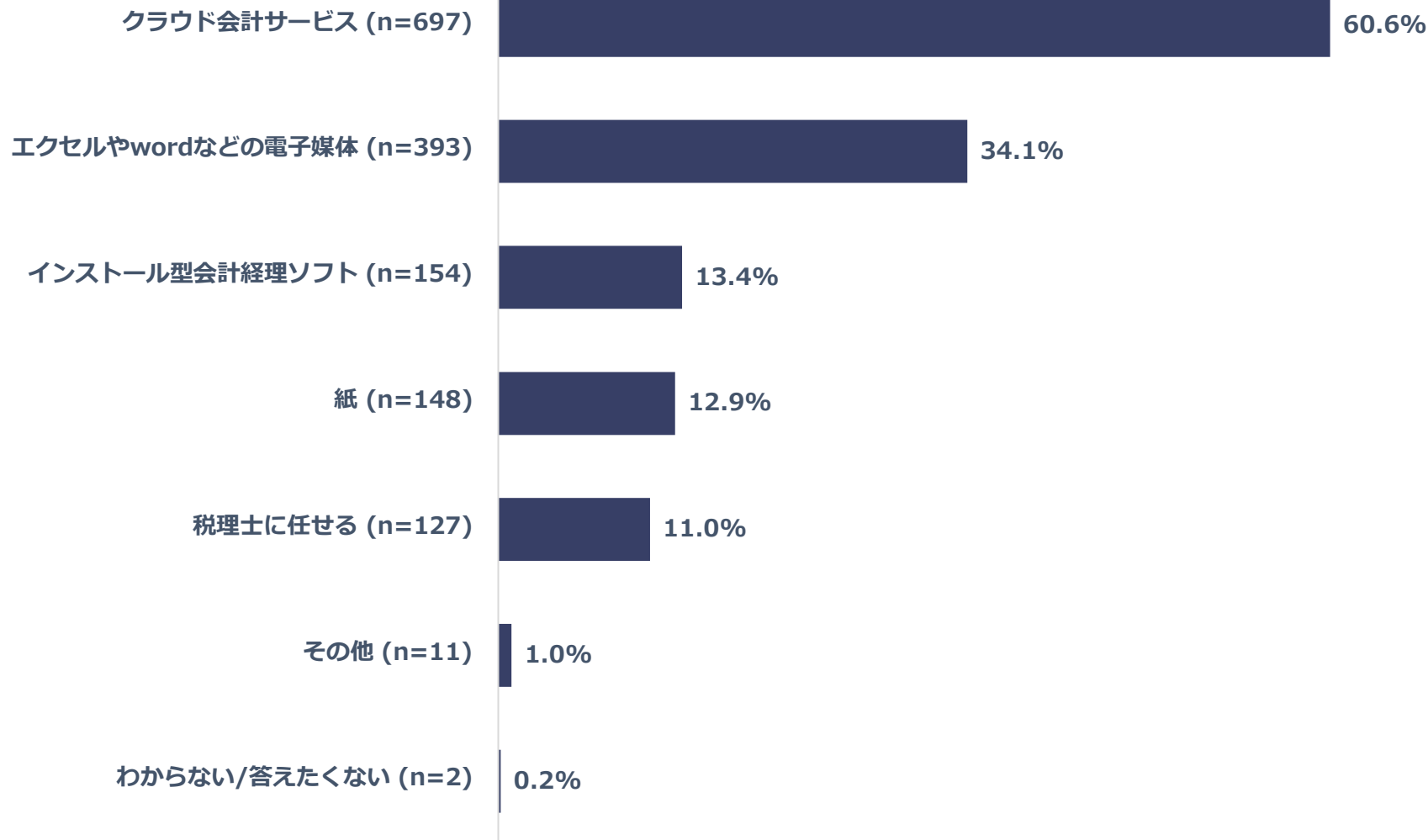
Q.あなたはフリーランスとしての業務について、どのような頻度で記帳していますか。
(単一回答)

(n=1,236 単位：%)



Q.あなたが業務の記帳に使用している方法を教えてください。（複数回答） (n=1,151 単位：%)

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70%

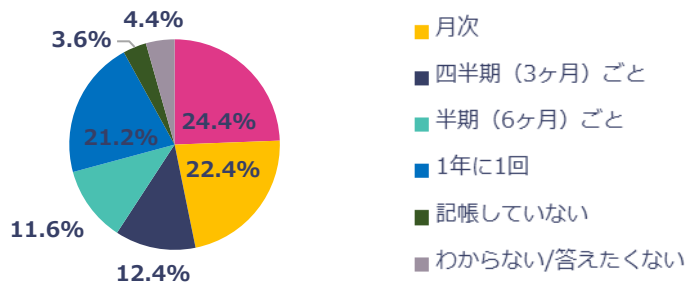


※記帳の頻度「記帳していない」「わからない/答えたくない」以外の回答者

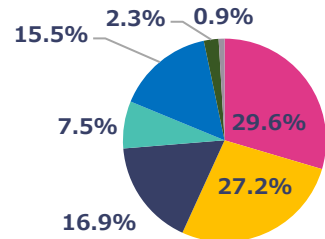
(単位：%)

記帳の頻度

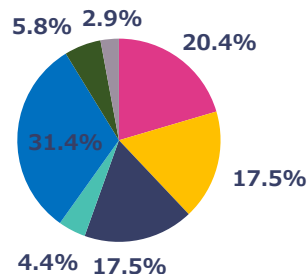
クリエイティブ・Web・フォト系(n=250)



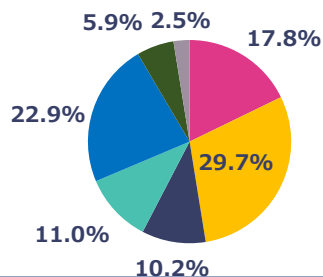
エンジニア・技術開発系(n=213)



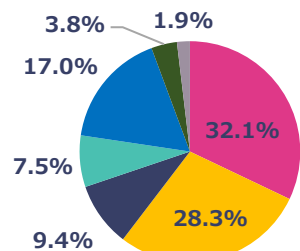
通訳翻訳系(n=137)



出版・メディア系(n=118)

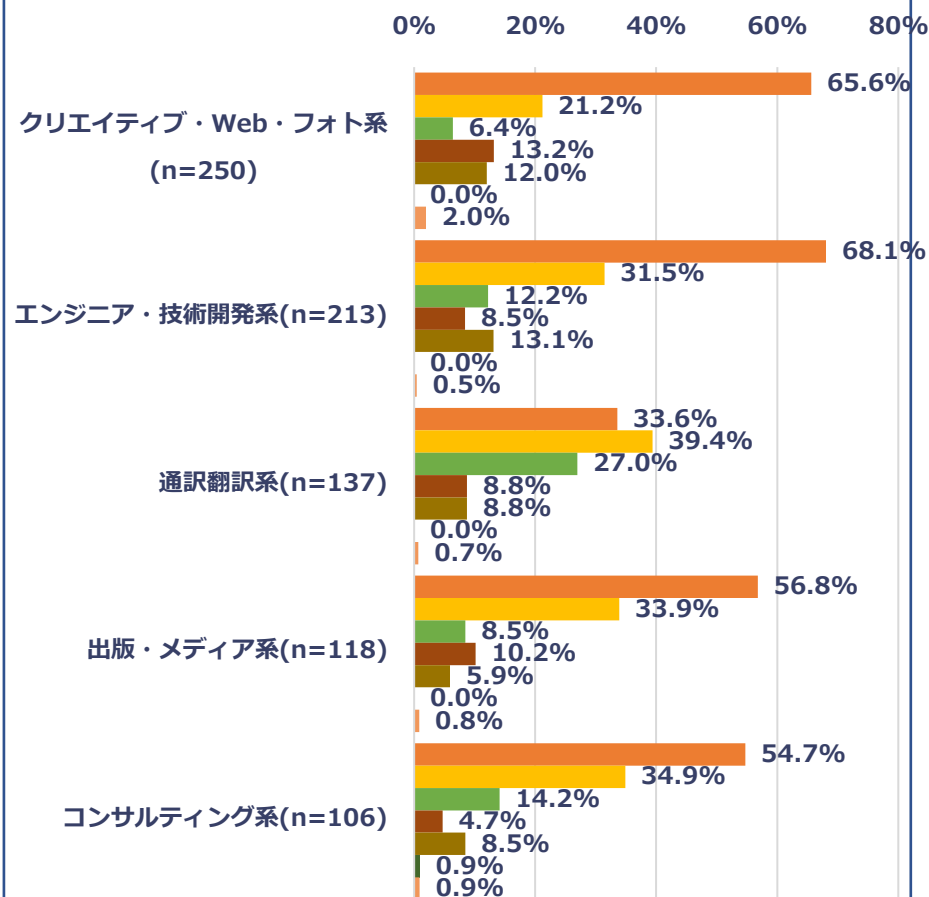


コンサルティング系(n=106)



記帳の方法

- クラウド会計サービス
- インストール型会計経理ソフト
- 税理士に任せる
- わからない/答えたくない
- エクセルやwordなどの電子媒体
- 紙
- その他

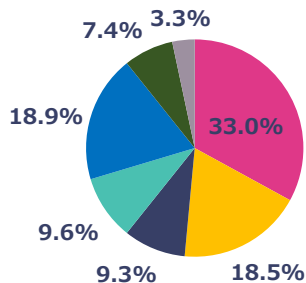


(単位：%)

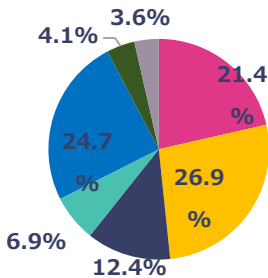
記帳の頻度

■ 出金発生都度 ■ 四半期 ■ 1年に1回 ■ わからない/答えたくない
■ 月次 ■ 半期 ■ 記帳していない

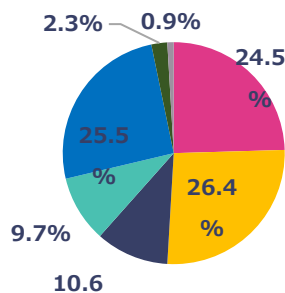
200万円未満(n=270)



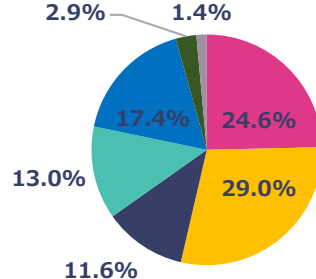
200-400万円未満(n=364)



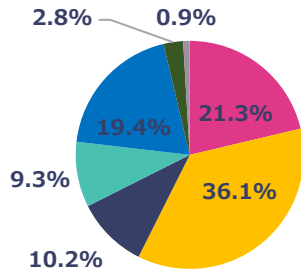
400-600万円未満(n=216)



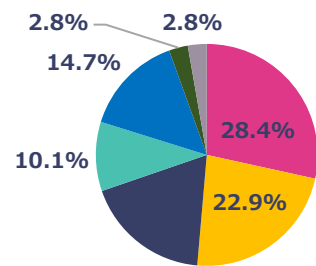
600-800万円未満(n=138)



800-1,000万円未満(n=108)

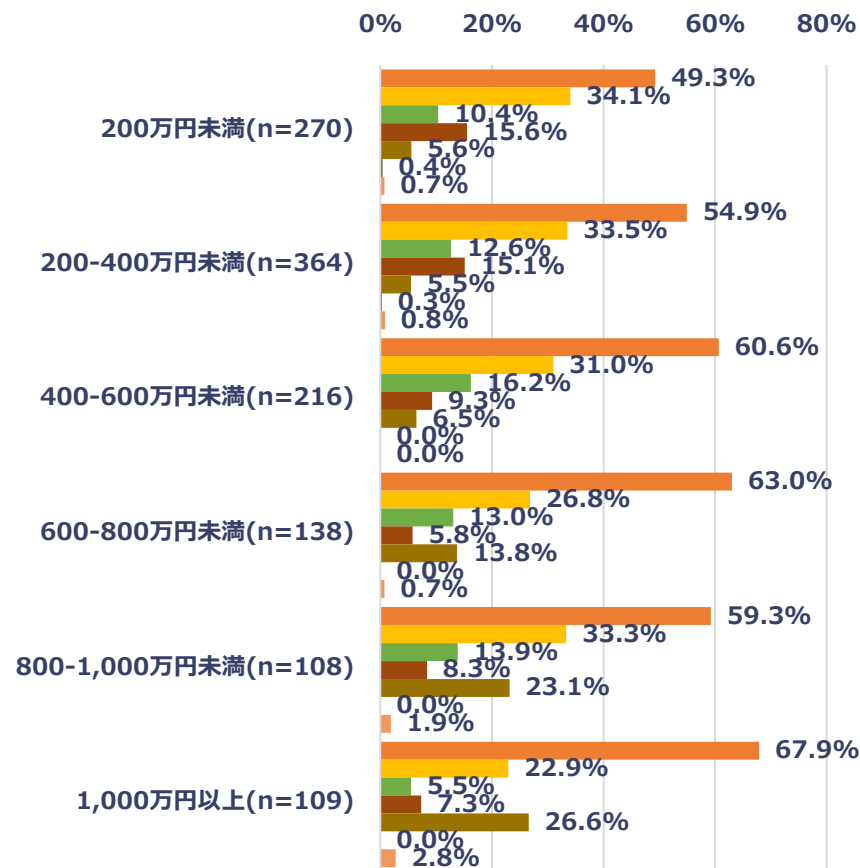


1,000万円以上(n=109)

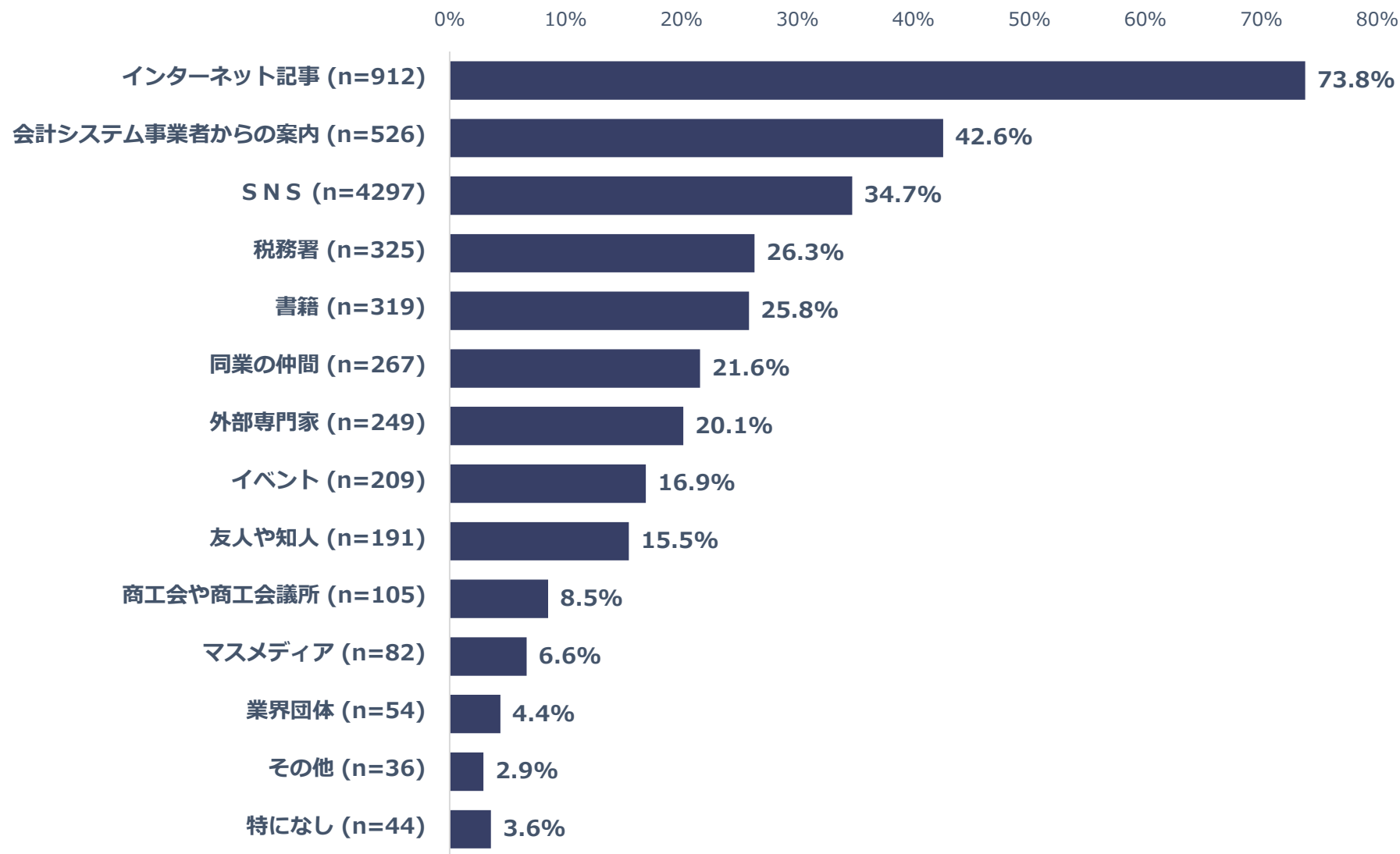


記帳の方法

■ クラウド会計サービス ■ エクセルやwordなどの電子媒体
■ インストール型会計経理ソフト ■ 紙
■ 税理士に任せる ■ その他
■ わからない/答えたくない



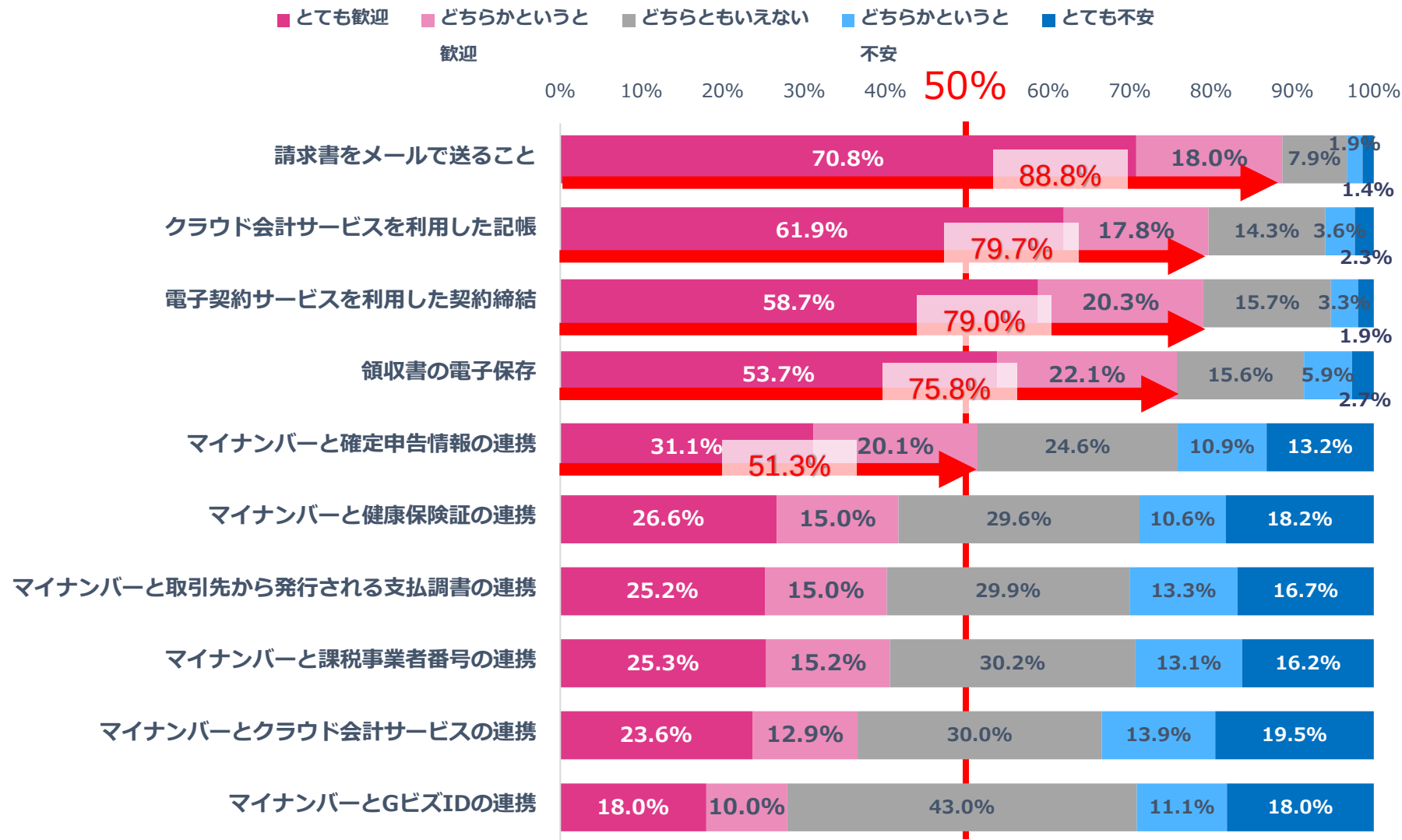
Q.あなたが記帳や会計処理に関する情報を得ている方法を教えてください。（複数回答）（n=1,236 単位：％）



■ 電子化に対する歓迎の割合

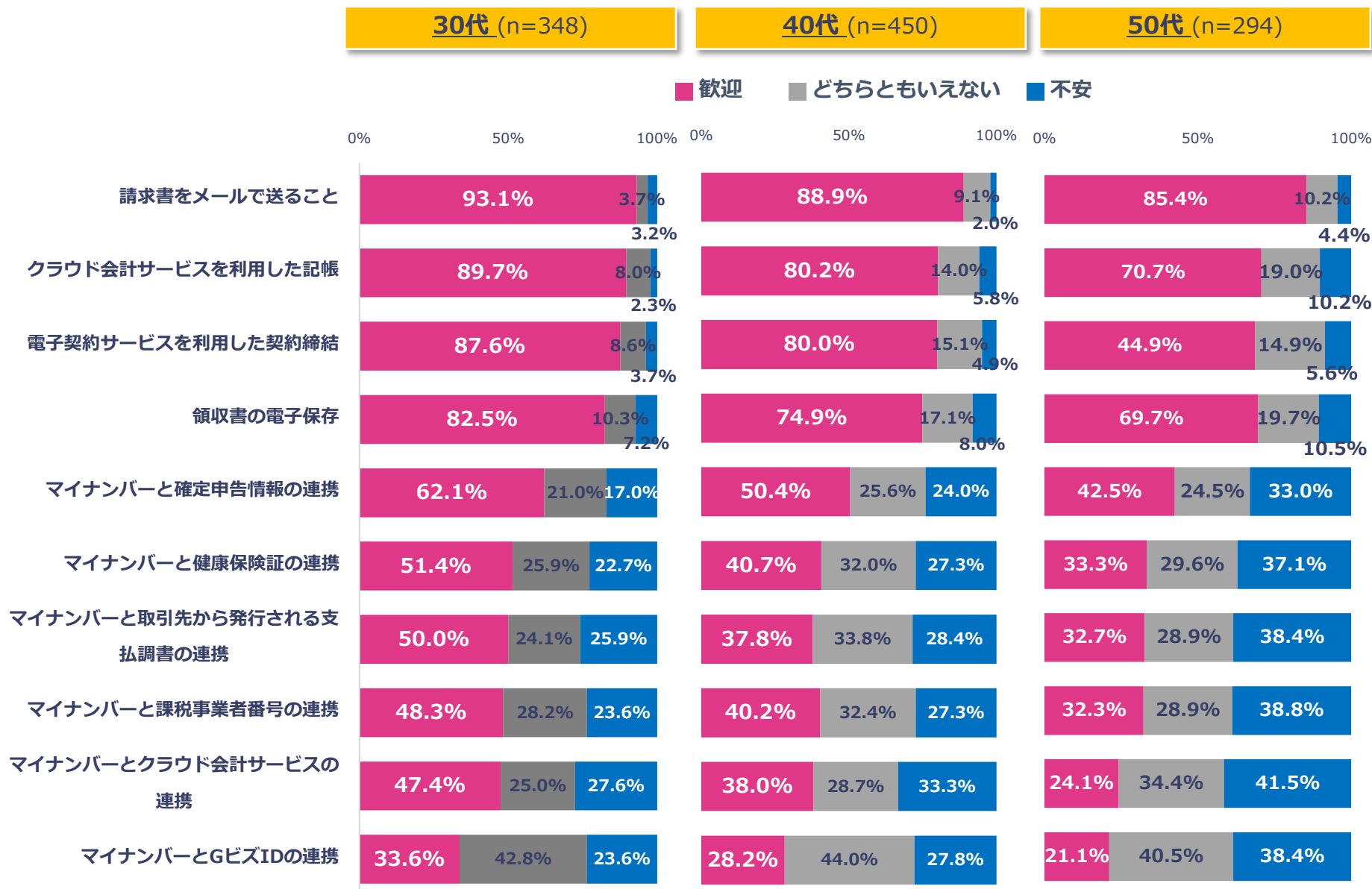
Q.あなたが電子化に伴う下記の事項に感じる気持ちに近いものをお選びください。
(各項目単一回答)

(n=1,236 単位：%)

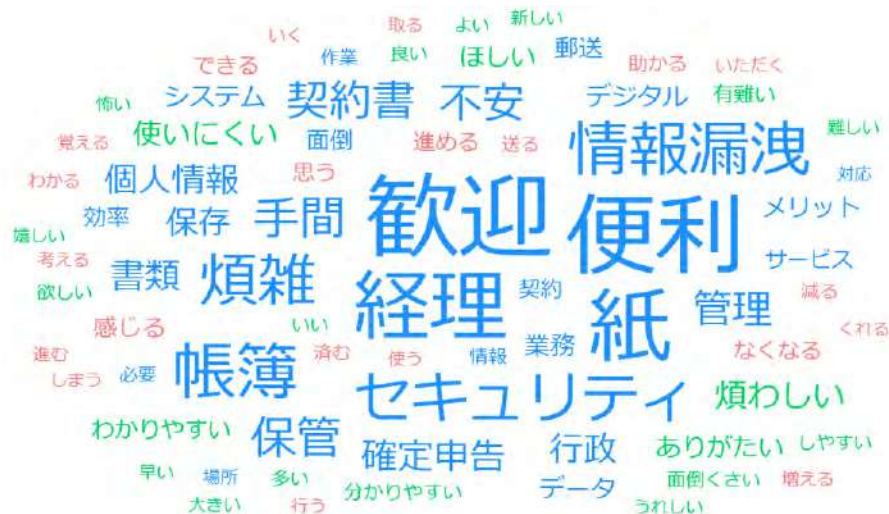


■ 【クロス集計】 年代別電子化への意向

(単位：%)



30代 (n=224)



名詞 - 動詞	スコア	出現頻度
便利-思う	0.98	6
便利-感じる	0.71	3
システム-できる (否: 66.67%)	0.43	3 (否: 2)
業務-すむ	3.00	2
データ-飛ぶ	2.00	2

- プリンター不要になるし、切手もいらないので便利だと思う。時間や場所に捕われずに申請や送付ができるので便利。(出版・メディア系)
- とても便利で、使用できないクライアントは案件を断る理由にもなるほどです。(人事・人材系)
- 便利になればなるほどよい本業に集中したい。(エンジニア・技術開発系)
- 便利になる一方で、どのような形になるのかをわかりやすく解説をする資料が欲しい(行政の資料は基本的に読解力がないと難しいものが多い)(クリエイティブ・Web・フォト系)
- 煩雑な作業が減るのは歓迎したいが、セキュリティや情報漏洩が心配。ヒューマンエラーも起きている。(コンサルティング系)
- 簿記を勉強していないので、freeeなどのクラウド会計サービスを使って、帳簿付けや確定申告を独りで完結させられるのがとても便利で重宝しています。ただ、インボイス制度や改訂された確定申告のやり方の話を聞いていると、帳簿付けがややこしくなりそうな上、払う税金が増えそうなので、収益が安定しないフリーランスとしては今後どのように働いていこうか悩んでいます。(クリエイティブ・Web・フォト系)

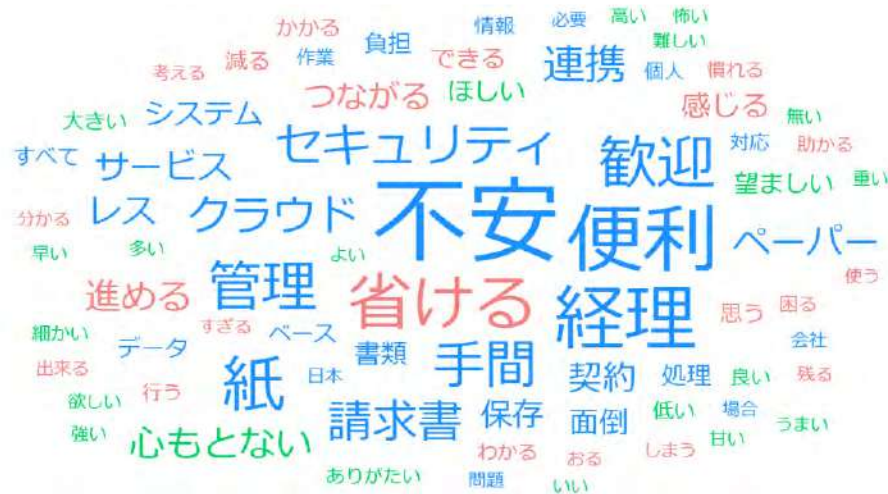
40代 (n=314)



名詞 - 動詞	スコア	出現頻度
便利-思う	1.14	7
手間-省ける	5.00	5
効率化-進む	1.05	4
紙-減る	0.86	3
メリット-感じる	0.52	3

- あのめんどくさい処理が全部電子化されて有耶無耶にならないのならば歓迎。（出版・メディア系）
- とにかく重複する作業を減らしたい、一元化されたデータベースで合理的になって欲しいと思います（クリエイティブ・Web・フォト系）
- 紙での保存量が減ると処理も楽になるので総合的には賛成している（通訳翻訳系）
- 紙が減らせるので大歓迎。万が一、消してしまったらという不安がないわけではない。（スポーツ・健康系）
- 「電子商取引の帳票類を電子のみで保存」でプリントアウトが認められないのは少し心配。7年間の保存義務を考えると、個人で用意できる機材では、壊れた時にデータが消失しないか不安だし、クラウドに保存するのも流出などが心配。今後の対応方法についてセミナーなどで情報を集めたい。（クリエイティブ・Web・フォト系）
- 個人情報については不安はない。操作技術について不安がある。（出版・メディア系）
- 若い世代にはメリットが大きいものの、高齢の方々や人手不足の事業者には負担が大きくなり、淘汰が行われそうで心配。（通訳翻訳系）

50代 (n=225)

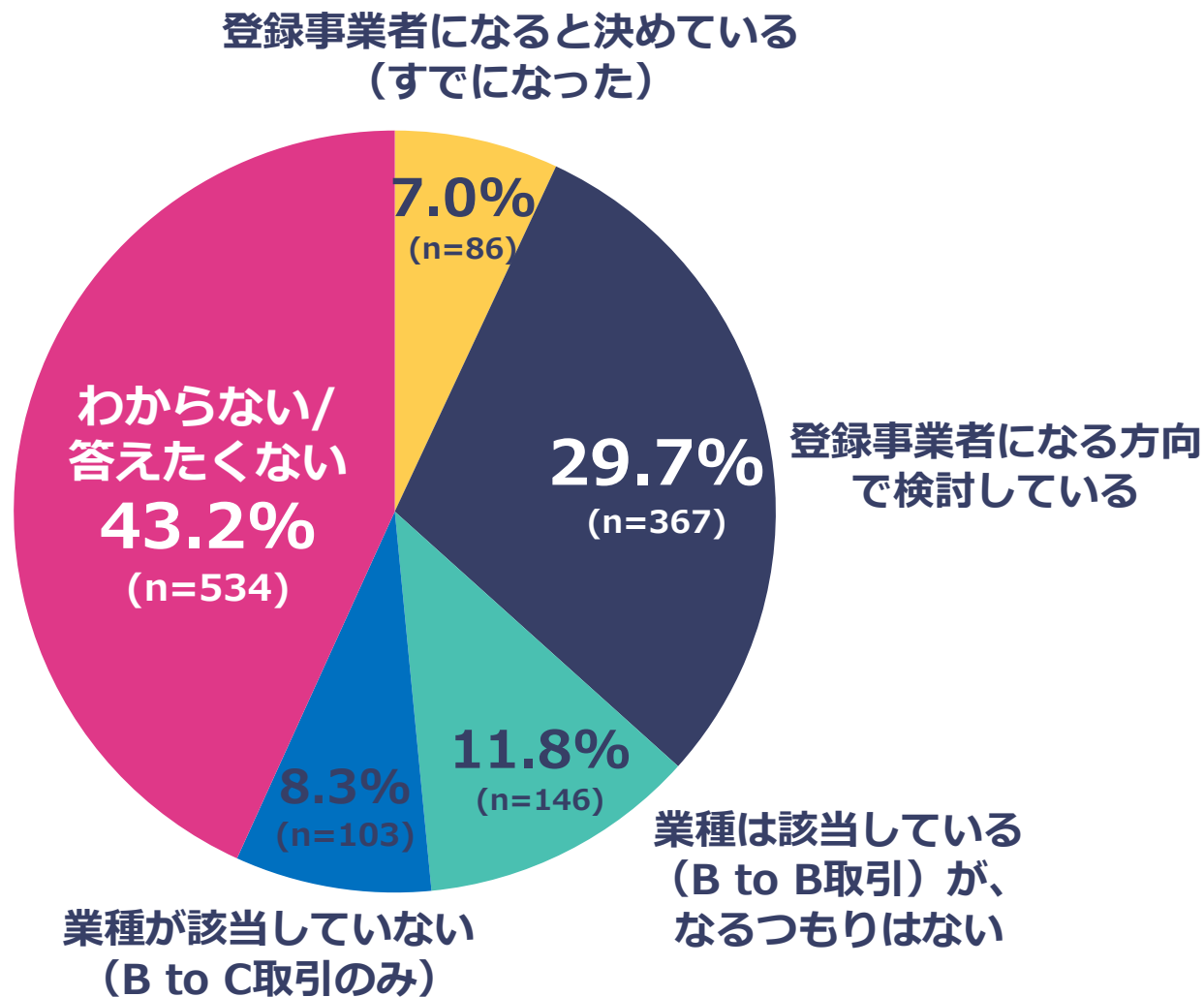


名詞 - 動詞	スコア	出現頻度
便利-思う	1.14	6
不安-感じる	1.67	5
手間-かかる	2.00	4
手間-省ける	3.00	3
バックアップ-取る	1.50	2

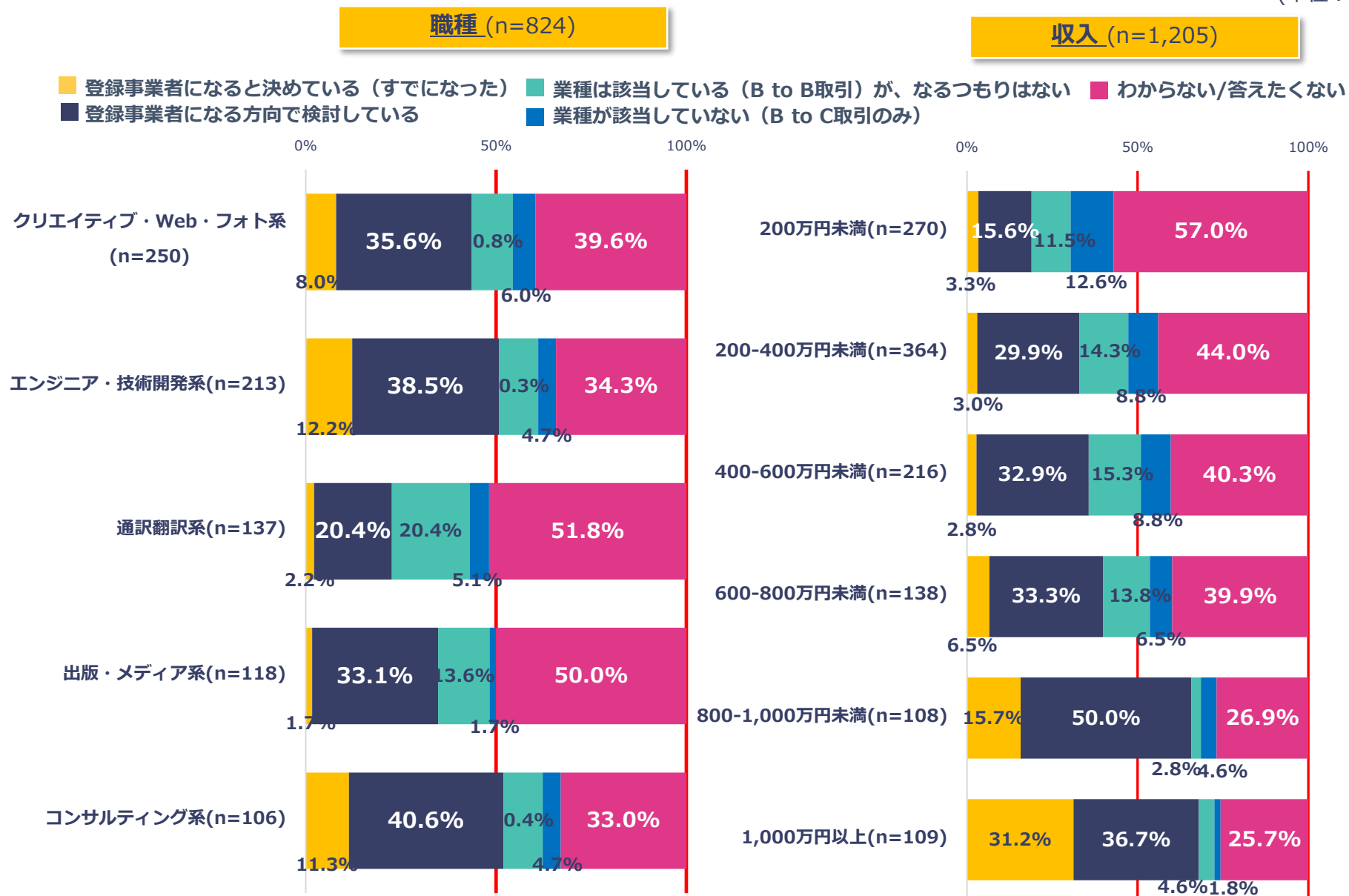
- システム要件と必要人員のハードルとコストが低ければ概ね歓迎。（教育系）
- 契約に関しては電子化されている仕事は大手の会社だけで、小規模の会社からはメールや口頭が圧倒的です。混在している状況が漠然とした不安につながっています。契約書を発行する立場でもあるので、今後の世の中の変化に合わせて変えていかなくてはならないこともあるかと思い、こちらも不安に思っています。
（クリエイティブ・Web・フォト系）
- マイナンバーカードに関してです。本来は、1つのカードに一元管理してもらった方が利便性が高くなるのですが・・・現状レベルでは反対です。反対理由は、政府の監視が云々と、巷で言われているような意味では全くありません。市役所の対応を見ていると、マイナンバーのPW管理などセキュリティに対する配慮が全く無く、非常に怖いと強く感じました。この事例だけでなく、基本的に、日本の行政のITリテラシーはかなり低いレベルと感じています。それゆえに、全てにおいてセキュリティ面で大きな不安を感じています。今のITリテラシー低さが改善されないのであれば、マイナンバーカードの活用は辞めていただきたいと強く要望します。（コンサルティング系）

Q.あなたは現在どのように対応しようとお考えですか。（単一回答）

(n=1,236 単位：%)



(単位：%)



登録事業者になると決めている(すでになった)(n=62)

- 仕事がもらえなくなるリスクがあるため。(建築・施工系・400-500万円未満)
- 取引先との関係で、登録事業者に成らざるをえないという感じです。(クリエイティブ・Web・フォト系・500-600万円未満)
- 取引先を失いたくない。また、そもそも消費税免除制度自体が「フリーランスが消費者から税金をちょろまかす制度」であるように感じる。税金を払いたくない気持ちはあるものの、消費者を騙している罪悪感の方が強い。(エンジニア・技術開発系・600-800万円未満)
- 法人化しようかどうか迷っていますが、BtoBがほとんどなので登録事業者にはなろうと思っています。(クリエイティブ・Web・フォト系・800-1000万円未満)
- ギリギリ1000万手前という売上だったので、時期がくれば課税事業者になることに抵抗はないし、クライアントに迷惑をかけない点でも、適切に対応したい。(企画系・800-1000万円未満)
- すでに課税事業者で大きな変更点はないため。(通訳翻訳系・1200～1500万未満)

登録事業者になる方向で検討中(n=261)

- 2023年からの制度であること、またインボイス制度に関わるフリーランスへの国の支援の動きもあるのでそこを見て判断したい。また現状はクラウドサービスと業務委託契約をした企業とのやり取りのみなので、今後、自分が直取引をするようになって考えてもいいと思っている。(出版・メディア系・100-200万円未満)
- 消費税を丸取りしているといわれるのが嫌なので、値上げして登録事業者になろうかなと考えている。
(クリエイティブ・Web・フォト系・300-400万円未満)
- 売上は1000万を下回る気がするが、社会的信用度を考えると登録したほうが利が多い気がする。(簡易課税を選択する予定) 請求書にも(消費税分を受け取る・受け取らないは別にして)登録事業者番号を求められるケースが増えそう。(エンジニア・技術開発系・800-1000万円未満)
- 大手エージェン트経由でサービスを提供しているため、登録事業者でなければ案件を獲得できない。(コンサルティング系・1200～1500万未満)

業種は該当しているがなるつもりはない(n=110)

- BtoB取引が減って損になるかもしれないが、幸いなことに仕入れがある仕事でもないので消費税10%上乘せや引き上げ引き下げで仕事以外の雑務の時間を取りたくない。また納税義務者になってしまうとスキルシェアサイトなどは手数料を引かれた手取りなのでこれに加えて10%以上の納税義務だと生活できなくなるため登録はしない。(映像制作系・200-300万円未満)
- エージェントから「これまでお世話になった事業主を登録事業者でないからといって切ったりしない」と回答を頂いています。なってもデメリットしかありません。(通訳翻訳系・300-400万円未満)
- 取引先が限られており、旧知の間柄が多いから。また、売上高がそこまで多くないから。(出版・メディア系・400-500万円未満)
- 当面は経過措置で80~50%控除可能なので控除不可になるタイミングで登録事業者になる予定。(エンジニア・技術開発系・500-600万円未満)
- 価格競争をしているわけではなく、代替可能性が低いから(企画系・1000~1200万未満)

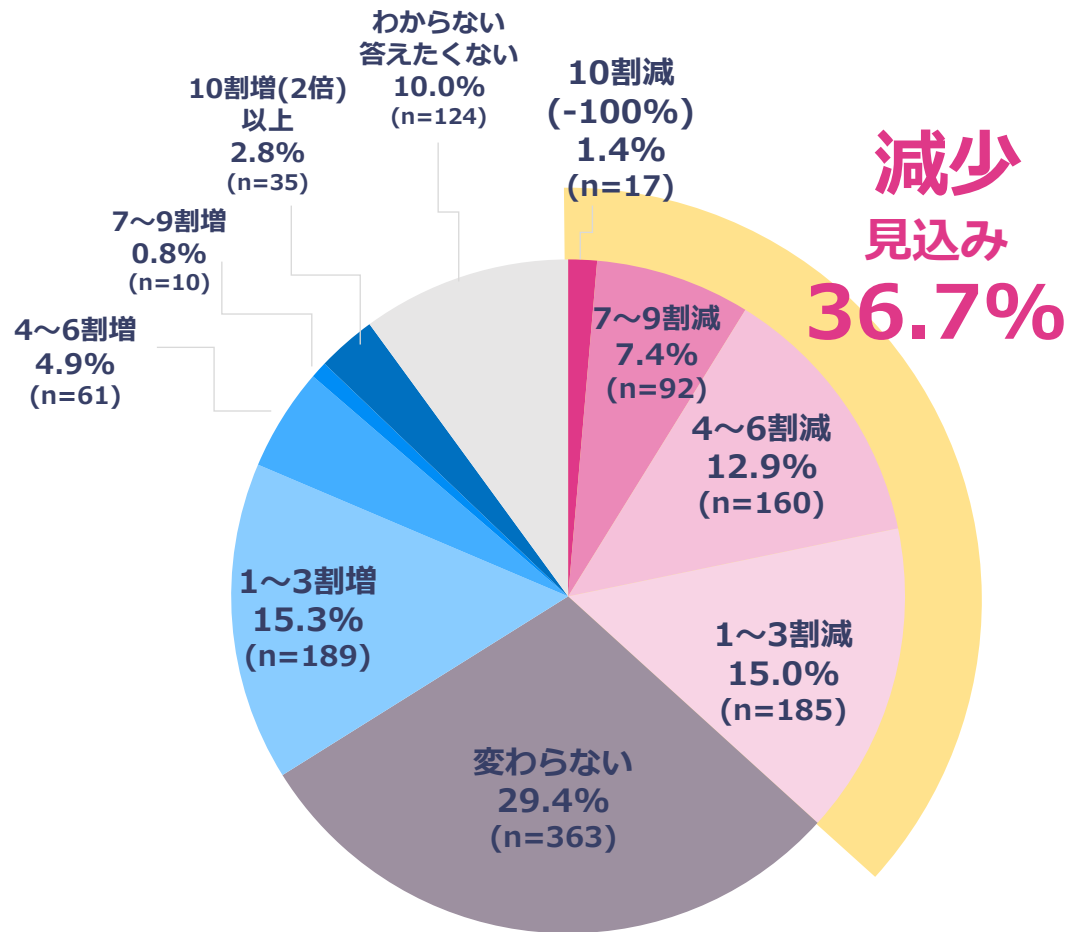
わからない/答えたくない(n=289)

- 小口の個人事業者が多く、副業でないと生活できない人も多そうな業種なので、登録事業者にならない(なれない) ケースも多いと推測されるため様子見。また現在、フルタイムで就職することも検討しているので、フリーランスとしての方向性が定まらない。(通訳翻訳系・100万円未満)
- コロナ禍でフルリモートOKの社員求人が増えた。フリーランスを続けるか否かも含め、どちらが自分にとって得か検討中。(クリエイティブ・Web・フォト系・200-300万円未満)
- セミナーを複数聞いたが、いずれの税理士も「今すぐ慌てて登録事業者にならなくてもいい」と言っているため、判断を先送りしている。(出版・メディア系・500-600万円未満)
- 自身の業界がどのようになるか、まだわからないのでなんともいえない。取引上、かなり不利になるのであれば、登録事業者にならざるを得ないのかと思っている。(エンジニア・技術開発系・500-600万円未満)
- 素人判断では、決めるのも、手続きを進めるのも無駄が多く、タイミングが来たら顧問の税理士の先生に伺って決めようと思っているため。(人事・人材系・1000~1200万未満)

コロナ禍の影響と 顕在化した課題

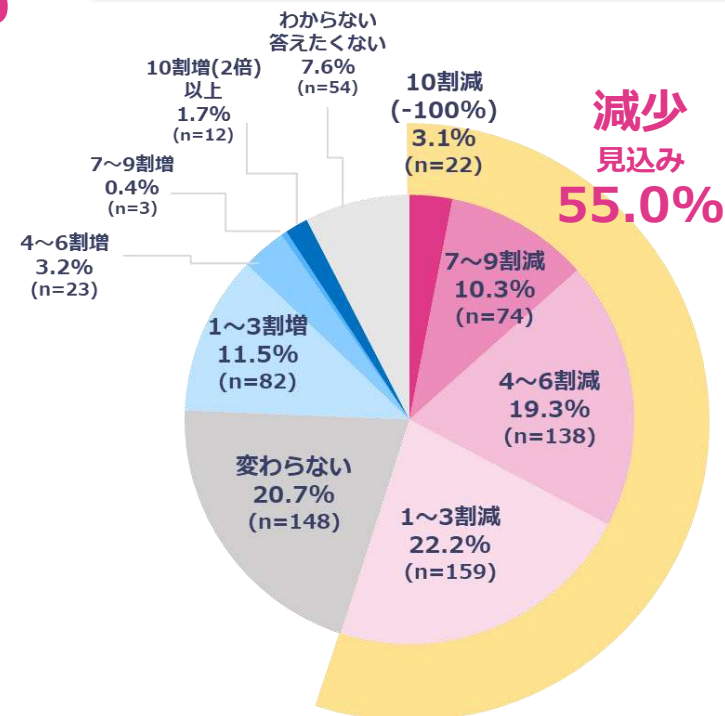
(n=1,236 単位：%)

Q.現時点での2021年度（今年度）事業収益の着地見込みを、2019年度（コロナ禍前）と比較した場合の増減割合で教えてください。（単一回答）



※小数点以下第二位四捨五入

白書2021【2020年12月実査】(n=715)



出典：「フリーランス白書2022 第2章-3コロナ禍の業務・収入への影響」フリーランス協会

- 雑所得計上していたフリーランスの多くは、**帳簿を付けていなかった**



「税理士がそうしていた」

「税務署でそうアドバイスされた」

「これまで何年もそうしてきて何も問題ないと思っていた」

- 物品の仕入れや外注などの**経費支払いがなく**、自分自身のスキルや稼働に対しギャランティをもらう職種の人たちは、**毎月の収支を計算することがない**ため、確定申告の目的以外では帳簿を付ける必然性を感じにくい
- 税理士・税務署窓口担当者としても、あまりに**情報やエビデンスに乏しい**と雑所得にせざるを得ない
- 雑所得であれば、**費目が不明瞭**でも「必要経費」として申告できてしまう
- 雑所得計上しているフリーランスが持続化給付金をもらえることに対して**フリーランス当事者の間からも批判や疑問の声**が挙がっていた

⇒ **フリーランスの会計・税務リテラシー向上**と併せて、事業者がきちんと帳簿を付けて、事業所得で申告することをスタンダードにするための**インセンティブ強化**に検討の余地あり

- 給与所得計上していたフリーランスは、取引先から給与明細が発行されていた



「業務委託契約を結んで、源泉徴収票や給与明細をもらっている」
「契約書がないので、雇用か業務委託か分からず働いていた」
「従業員ではないので、休業補償はもらえないと言われた」

- 事業者と労働者（非正規・日雇い含む）について、働き手自身と活用企業が違いを認識できていないため、正しい記帳に繋がっていない

事業者

労働者

開業届を出して、業務委託契約を締結し、自律的に働いているが、給与明細が発行されていた

開業届を出して、業務委託契約を締結しているが、特定の職場に毎日決まった時間に出社して、給与振込がある

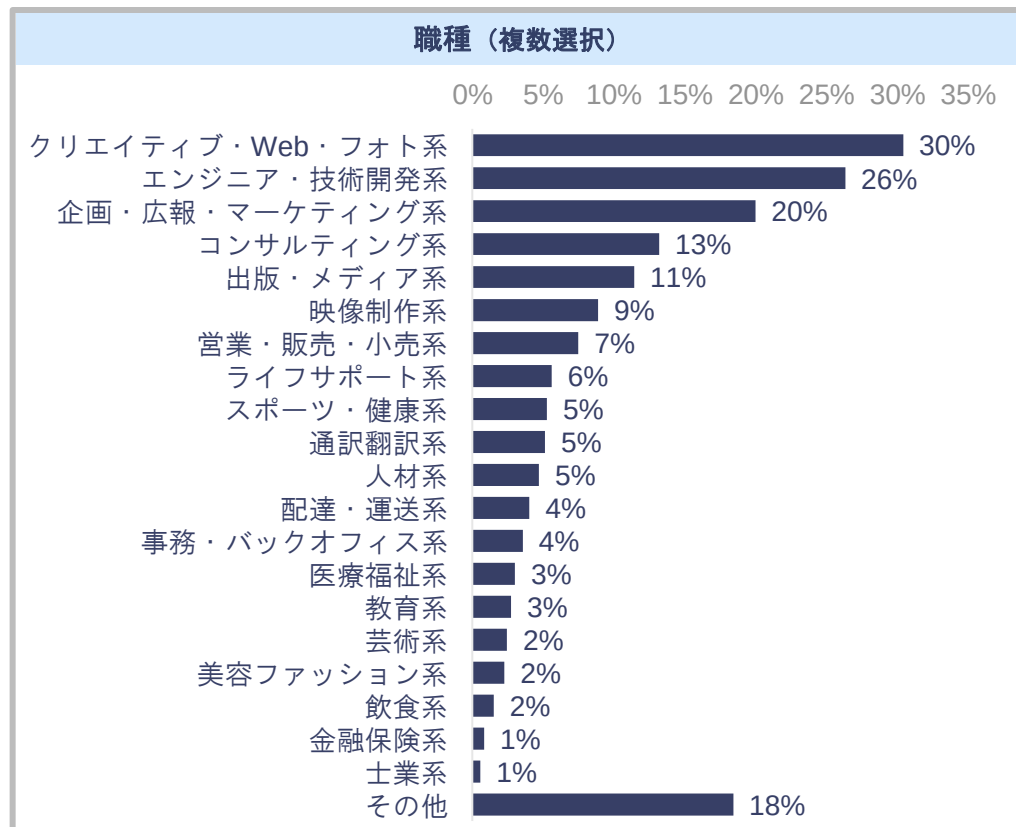
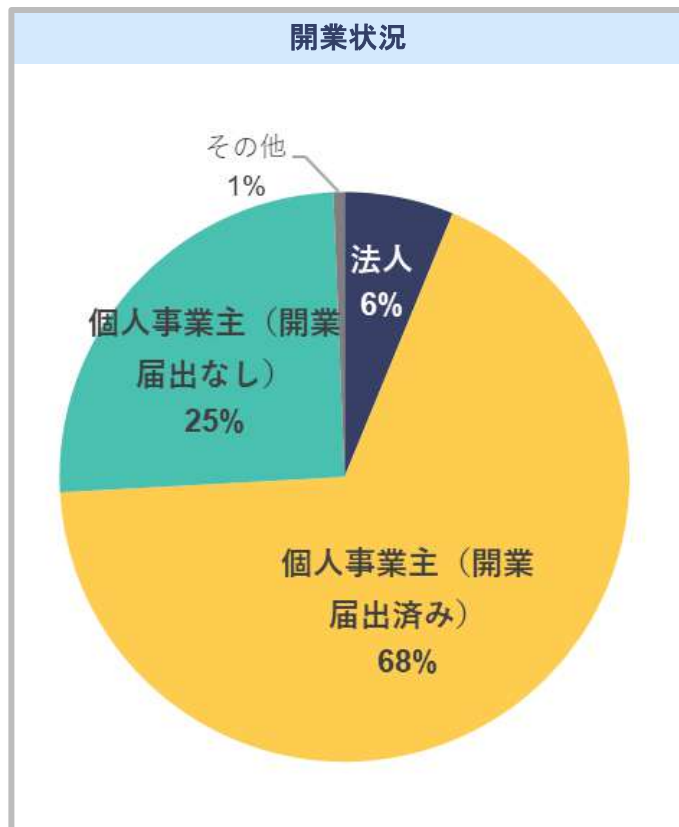
開業届を出しておらず、契約書も無く、本人の自覚としても、事業者なのか非正規労働者なのか位置づけが曖昧

非正規労働・日雇い労働の掛け持ちで生計を立てているが、休業補償がもらえないので持続化給付金が欲しい

⇒働き手および活用企業の双方が、**事業者（報酬）と労働者（給与）の違いや会計・税務上のルール**について理解を深める必要がある

一律支援の困難性①職種・就労形態の多様性

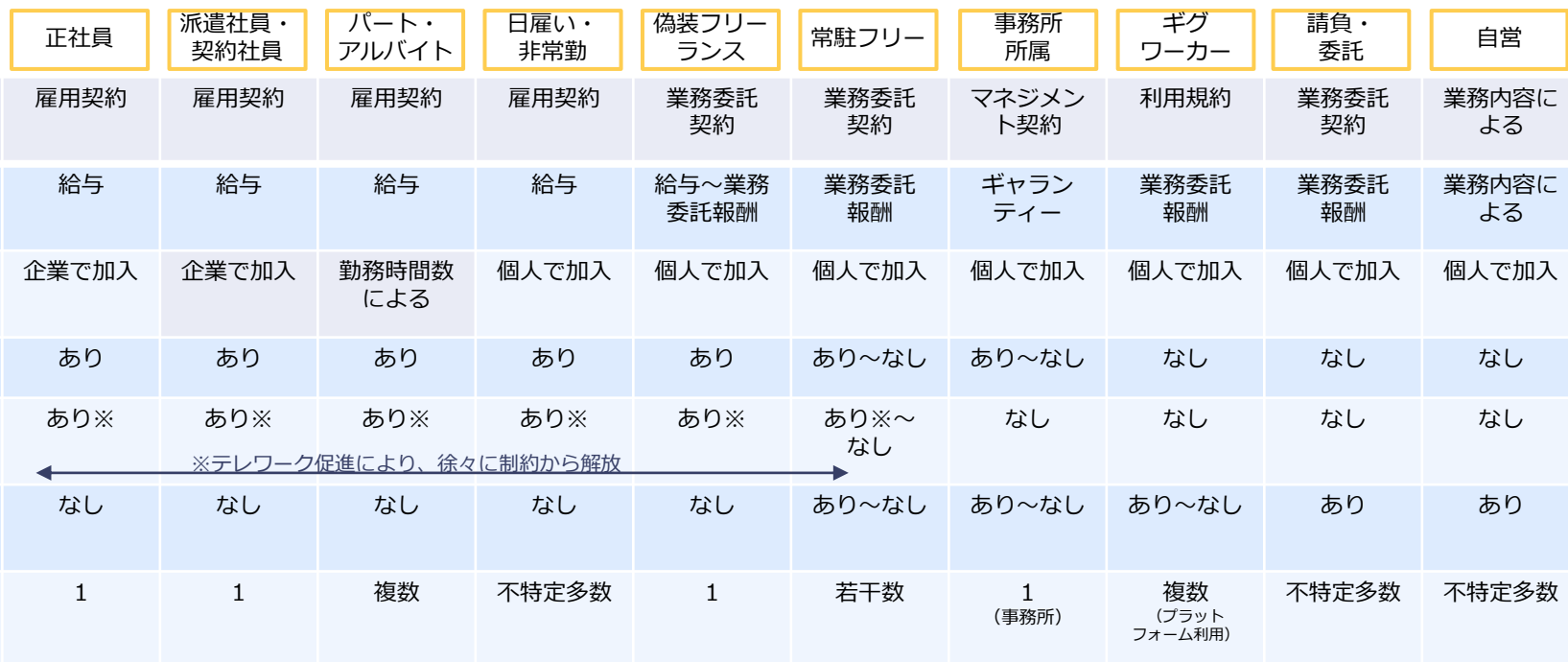
- 法人経営者、個人事業主、開業届の提出義務がない人や、未提出の人が混在（かつ行き来あり）
- 職種やビジネスモデルも多種多様
- 収益の発生方法・支払い方法・タイミングも多岐にわたる
- 副業・兼業で収入源が複数あるケースも珍しくない



フリーランス協会一般会員（有料会員）属性
※ 2021年2月末現在本会員である5,702名を対象に集計

 プロフェッショナル＆パラレルキャリア
フリーランス協会

- 労働者** ←————→ **事業者**
- | | | |
|------|-------|----------------------------------|
| 正規雇用 | 非正規雇用 | フリーランス＝個人事業主・法人経営者・すきまワーカー（開業届無） |
|------|-------|----------------------------------|



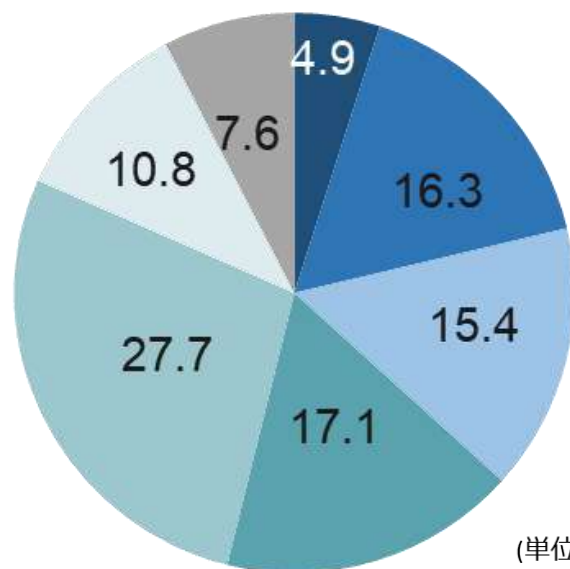
35

一律支援の困難性②就労時間・年収の多様性

- フリーランスは会社員よりも就労時間のバラツキが大きく、いわゆる時短の働き方を選択している人の割合が会社員より多い
- 自身・顧客都合により、業務量や時間が常に変動し波がある（平準化できない）
- 休業状態の個人事業主も多数存在（開業届・廃業届が有名無実化）

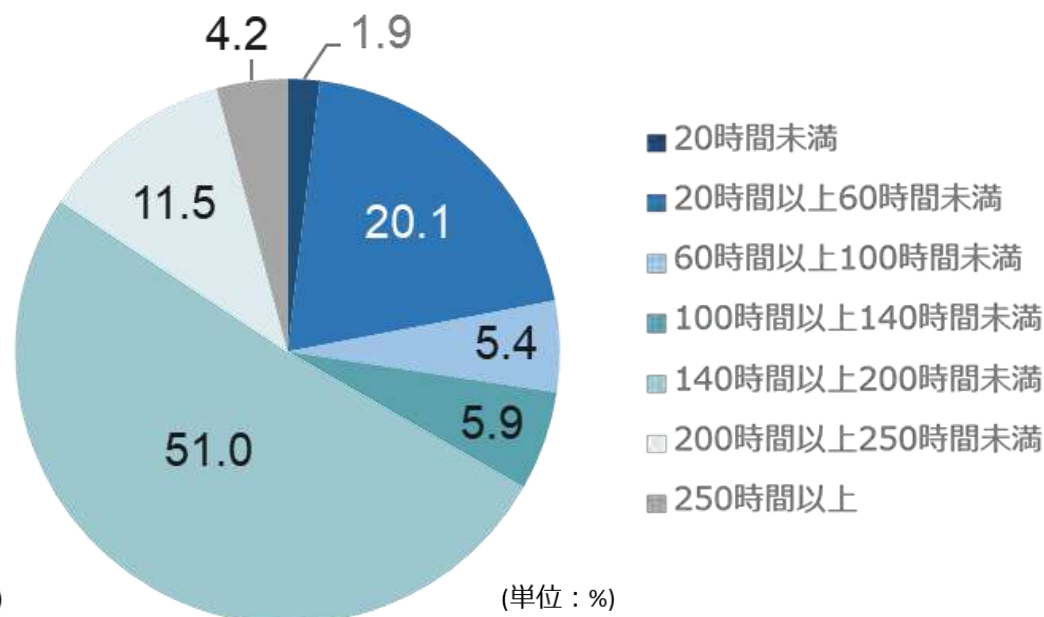
[フリーランス]

(n=869)



[会社員]

(n=1,030)

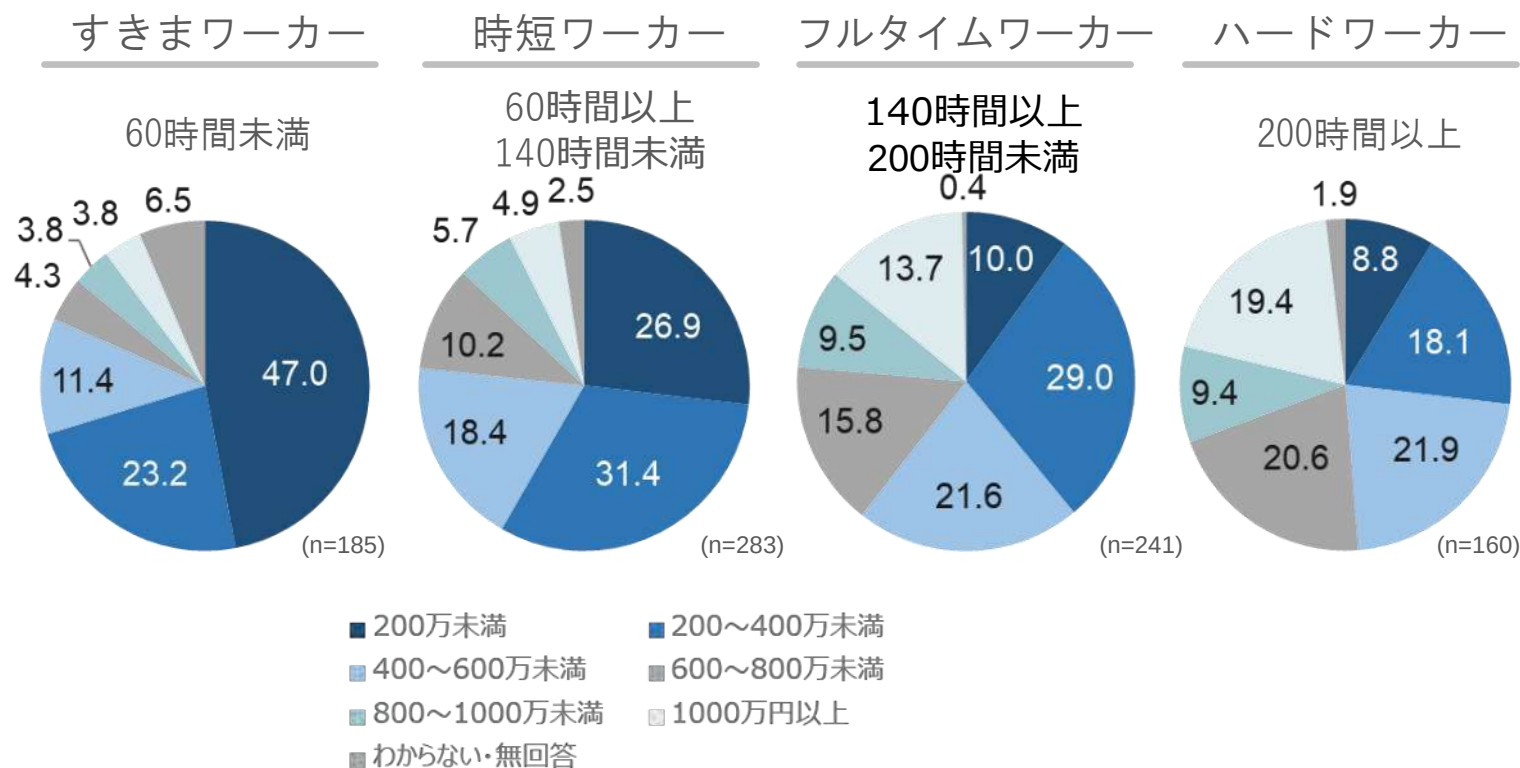


出典：「プロフェッショナルな働き方・フリーランス白書2019」フリーランス協会

一律支援の困難性②就労時間・年収の多様性

- フリーランスは就労時間によって、年収の個人差が激しい
(もちろんスキルや経験値、関係性も大いに影響)

(単位：%)



出典：「プロフェッショナルな働き方・フリーランス白書2019」フリーランス協会

・定期的に事業者の実態捕捉を行う仕組みの早急な構築

マイナンバー活用による就労・所得実態*の情報一元管理が理想

*開業届、源泉徴収票、支払調書、給与明細、確定申告書類、年金記録、銀行口座など

・フリーランスの会計・税務リテラシー向上

事業者と労働者の明示的区分の周知を含め、一般の起業家や中小企業とは異なるフリーランス文脈に寄り添った解説が望ましい

・帳簿付けのインセンティブ強化

税控除に加えて、青色申告者を各種公的支援（給付金・補助金等）の対象要件にする、青色申告者の協会けんぽ（健康保険組合）加入を認めるなど

・クラウド会計ソフト普及を含む、会計業務のDX推進

帳簿付けの作業コストを減らし、心理的ハードルを下げる効果あり

但し、適切な利用を促進・支援するため、税務専門家のサポートは必要

・マッチングプラットフォームへの協力要請

事業者であることの同意取得、記帳および確定申告の指導、支払調書発行（電子含む）の義務化など

ご清聴ありがとうございました

For more information, follow me!

フリーランス向け
福利厚生・保険

実態調査・白書

政策提言

キャリア支援

セカンドキャリア支援

副業デビュー支援

副業・兼業人材活用

副業解禁

関係人口創出

Facebook



Twitter



Instagram

